

## 令和4年第10回産業建設常任委員会 要点記録

開閉会日時	令和4年12月15日（木曜日）			開会	9:54	会議場所	別海町議会 委員会室2・3		
				閉会	11:09				
委員の出欠	3 番	田村 秀男	出席	4 番	小椋 哲也	出席	8 番	松壽 孝雄	出席
	12 番	松原 政勝	欠席	13 番	中村 忠士	出席			
出席説明員	産業 振興部	産業振興部長		産業振興部次長		農政課長		商工観光課長	
		門脇 芳則	出席	佐々木栄典	出席	小野 武史	出席	田畑 直樹	出席
		水産みどり課長		農政課主幹		商工観光課主幹		商工観光課主査	
		田村 康行	出席	上田 健一	出席	岩口 裕昭	出席	武田 妙子	出席
		農政課主査		農政課主査		水産みどり課主査		水産みどり課主査	
		武田 文吉	出席	西郷 博之	出席	古里 達也	欠席	岩光 信幸	欠席
	建設 水道部	建設水道部長		管理課長		事業課長		建築住宅課長	
		伊藤 一成	出席	松田 勝広	出席	外石 昭博	出席	川畑 智明	出席
		上下水道課長		上下水道課技術長		管理課主幹		建築住宅課技術主幹	
		谷村 将志	出席	袴田 充輝	出席	前道 陽司	出席	山岸 英一	欠席
		建築住宅課主幹		事業課主幹		事業課主幹		上下水道課主幹	
		篠田 敬介	欠席	廣島 静治	欠席	佐竹 和仁	欠席	福原 仁史	欠席
	管理課主査		建築住宅課主査		事業課主査		上下水道課主査		
	木村 洋平	欠席	大西 廣和	欠席	板垣 正博	欠席	植松 拓也	欠席	
	農業 委員会	農業委員会事務局長		農業委員会主幹		農業委員会主査			
		内山 宏	出席	たも木 直人	出席	山下 真弘	出席		
	委員外の出席	議長	西原 浩				合計	1名	
	事務局職員	局長	干場 富夫				合計	1名	
傍聴者数	議員	0名	報道関係者	0名		合計	0名		

# 令和4年第10回産業建設常任委員会 要点記録

## 会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 8番 松壽	9:54 開会
	出席委員5名、委員外1名、会期1日
委員長 8番 松壽	挨拶
	【農業委員会所管事務調査】
委員長 8番 松壽	その他
農業委員会事務局長 内山	挨拶、概要説明
	<p>(1)農業委員会委員の改選について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料により説明</li> <li>・第24期農業委員の任期が令和5年7月19日に満了。</li> <li>・農業委員の選出方法は、農業委員会に関する法律により町長が議会の同意を得て任命する任命制。</li> <li>・改選に向けて、国の第5次男女共同参画基本計画において、農業委員に占める女性の割合を上昇させることを目的として、積極的な登用に努めることが求められていることから、別海町農業委員会としても、女性の農業委員登用を推進していく。</li> <li>・農業委員の定数担当地区については、農業委員の定数は27人で担当する地区と委員数は資料の表のとおり。</li> <li>・改正に向けたスケジュール。</li> </ul> <p>農業委員の推薦募集については、産業振興部の農政課が窓口となり、令和5年3月に推薦募集の周知を町のホームページ及び広報等で行う。</p> <p>推薦募集期間中に、状況を整理して中間終了後の2回ほど町のホームページで公表した後に、評価委員会を開催する。</p> <p>6月の第2回議会定例会に農業委員の任命についての議案を提出させていただく。</p> <p>7月20日に町長が任命という流れ。</p>
委員長 8番 松壽	農業委員会 10:00 終了 休憩
	【建設水道部所管事務調査】
委員長 8番 松壽	10:04再開 委員長挨拶
建設水道部長 伊藤	挨拶及び概要説明
委員長 8番 松壽	議事1 所管事務調査について
建設水道部長 伊藤	(5)空き家対策について
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第8回の常任委員会で現地を確認いただいたところだが、現在も改善はされていない。</li> </ul> <p>第2回別海町空き家等対策協議会において、勧告の行政指導書の承認をいただいた。</p> <p>現在は、法定相続人に対し、令和5年2月3日を期限に除却の勧告を行っているところであり、次回以降の常任委員会において、進捗状況等について報告をさせていただく。</p>
	(6)除雪について
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の除雪体制について説明する。</li> <li>・資料により説明</li> </ul> <p>除雪路線及び延長は、農道を含めた町道が708路線、1,025キロメートル、生乳搬出路64戸、要保護世帯79戸、公共施設171箇所昨年とほぼ同等となった。</p> <p>除雪機車両装置及び台数については、町有・民有合わせて、グレーダー5台、除雪トラック12台、除雪ドーザーが車道用・歩道用合わせて58台、ロータリー除雪車も車道歩道合わせて6台、合計で昨年度と同数の81台の除雪体制となっている。</p>
管理課長 松田	
委員長 8番 松壽	質疑

## 令和4年第10回産業建設常任委員会 要点記録

委員	3番	田村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明した以外で、条例上で私道も除雪することになっているが、実績値は。</li> <li>・令和3年度は、69戸。</li> </ul>
管理課長		松田	
委員	13番	中村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には公営住宅の駐車場等、あるいは人が出入り関係の除雪は基本的には行っていないという理解していかってということと、中春別団地については、対象施設になっているが、そこら辺の説明を。</li> </ul>
管理課主幹		前道	
委員	13番	中村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の除雪に関しては、それぞれ所管課から必要部分の依頼を受けて実施している。</li> <li>中春別団地については、駐車場ではなく中の通路部分の除雪を実施する。</li> </ul>
管理課主幹		前道	
委員	13番	中村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の公営住宅のおける、通路の除雪の要望についてはどうなっているのか。</li> <li>・例えば、イースタウン、尾岱沼の特交賃、中春別については、駐車場ではなく、道路に出る通路部分の除雪依頼があり実施している状況。</li> </ul>
管理課主幹		前道	
委員	13番	中村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認ですけど、それは各担当部署が公営住宅だったら、住宅関係からの依頼があれば、建設水道部で検討するという理解でよろしいか。</li> <li>・町道の除雪が終わった後に町の除雪車で行える場所、公共性のある場所について、依頼を受けますという形で依頼を受けているので、場所によっては、町道の除雪が終わった後だと遅いような場所については、担当課の方で別に検討はされてると思う。</li> </ul>
管理課主幹		前道	
議長		西原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生乳搬出路について、実績が69戸で契約が64戸なんだけども、その差っていうのは、追加で申し込みがあったのか。</li> <li>・生乳搬出路についての窓口が農政課なので、農政課に依頼が来て、2月ぐらいにちよつと事情が変わって申し込みたいというのが来ているのが現状。</li> </ul>
管理課主幹		前道	
委員長	8番	松壽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他に質疑あるか。</li> <li>・なし。</li> </ul>
委員		一同	
委員長	8番	松壽	建設水道部 10:18 終了 休憩
			【産業振興部所管事務調査】
委員長	8番	松壽	10:22再開 委員長挨拶
産業振興部長		門脇	挨拶、概要説明
委員長	8番	松壽	議事1 所管事務調査について
水産みどり課長		田村	(1)秋サケ漁の状況について
委員	3番	田村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料により説明。</li> <li>・道立総合研究機構の予測の発表する時期というのはいつ頃なのか。</li> </ul>
水産みどり課長		田村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おおむね、6月か7月ぐらいと記憶している。</li> </ul>
農政課主幹		上田	(2)別海町食育地産地消推進計画について
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料により説明。</li> <li>第2次別海町食育地産地消推進計画へ素案について説明する。</li> <li>素案作成に至る経緯は、食に関する実態調査、アンケートの内容等について、別海町食育地産地消推進計画策定懇話会、庁内検討委員会で協議し、本年10月17日から11月15日までの間でアンケートを実施。</li> <li>その後、懇話会庁内検討委員会で、国や北海道の計画、アンケート結果をもとに計画の見直しを行い、12月6日に計画策定委員会を開催し、素案の策定を行った。</li> <li>今後、12月末から1月末にかけてパブリックコメントを実施し、2月中旬に、第3回の懇話会庁内検討委員会、最後に、第2回の策定委員会を得て、3月に計画を公表する予定となっている。</li> </ul>
委員長	8番	松壽	質疑
委員	13番	中村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3ページの食品ロスの問題がでていて、別海町にとっても課題だということだが、全国的な食品ロスの数字が出ているが、町内での実態というのがここではわかりにくい。</li> </ul>

## 令和4年第10回産業建設常任委員会 要点記録

	<p>町内の食品ロスの実態というのを、なかなかつかみづらいところがあるかなというふうに思うが、何らかの形での掴むということをやっているのか。</p> <p>また、残食を少なくするという話は、教育委員会とは話されているのか。</p>
農政課主幹 上田	<p>・国の計画においてもの推計値として出ている数値を参考として記載している。</p>
	<p>別海町の食品ロスについては、今回改めて調査等はしていないが、学校給食の残滓分は把握可能かと思うので、今後、教育委員会と協議しながら、押さえられるのは押さえたいというふうに考えている。</p>
委員 13番 中村	<p>・今後、実態を把握するというので、よろしく願いたい。</p>
	<p>8ページに、食育・地産地消推進に当たっての数値目標が出ているが、目標の立て方として、向上させるよってという言い方と、具体的な数値が出ているものとの違いは。</p> <p>それから、良くなっているものとあまり芳しくないというか、前回から見ると悪くなっている部分というのがあるが、悪くなっているもののその原因の見極めみたいなのは行われているのか。</p>
農政課主幹 上田	<p>・まず、目標の向上という文字と数値の表記の違いについては、向上という部分については、将来的に100%を目指していきたいという意味で、特に数値を設定しないというような考えになっている。</p>
	<p>数値的なものについては、徐々に目指していきましょうという考えで載せている。</p> <p>現状値が悪くなっているものについては、肥満傾向児の割合の欄では、5年前より悪くなっているが、話し合った中で、コロナ禍の影響で在宅が増えて家の中での食事が増えたのではないかなというような話も出ており、そういったことを改善していきましょうということと話し合いを行っているところ。</p>
委員 13番 中村	<p>・栄養教諭による食育・地産地消等に関する指導の平均取組回数があるが、月12回という現状値になっているが、全校で月12回なのか。</p>
	<p>それから、政府の方で出している具体的な数値目標の全部をここに入れるっていうわけにはいかないと思うんだけど、私一般質問で、食塩の摂取料とか野菜の摂取量という項目が新たに上がったが、入れていく必要があるんじゃないかみたいな要望を出したんだけど、その点はどうなったのか。</p>
農政課主幹 上田	<p>・栄養教諭については、教育委員会に確認しながら設定したが、現状、栄養教諭は1人でやっているということで、月12回から15回程度のばらつきはあるという中で、今回、現状1人という状況も鑑みて、最低国の目標である月12回はやりましょうということで設定した。</p>
	<p>ほかの学校については、お便りとかを栄養教諭の方が作成して毎月配布はしていると。直接行くのは年に1回2回というお話でしたが、そういうことをやっているというお話だった。</p> <p>目標で、新たに追加された食塩や野菜摂取量等の目標値だが、今回、懇話会や庁内検討委員会の話し合いの中で、そういったものをアンケート調査で数値を発表するのは難しいと。</p> <p>目標設定したとしても町の中で、その数値を検証することができないということもあり、町としての計画に盛り込むのはやめる判断になった。</p>
委員 13番 中村	<p>・栄養教諭が配置された学校では12回ないし15回ってということで、基準は満たされるが、非常に広大な別海町の中の他の学校の栄養教諭による指導をどう向上させていくかっていうことは課題だと思う。</p>
	<p>ぜひ、この計画を実践していく観点から、教育委員会と十分な協議をしていただきたい。</p> <p>野菜の摂取量をどういうふうに見積もってかとか、実態がどうなるかとかかわからないと、目標はなかなか立てられないと思うが、実態調査を含めて、ぜひ検討していただきたい。</p> <p>いかがか。</p>
農政課長 小野	<p>・栄養教諭の関係については、我々も検討委員会でもいろいろ協議して、そこは教育委</p>

## 令和4年第10回産業建設常任委員会 要点記録

	<p>員会所管なるので、ここで具体的にどうしますと申し上げられないが、例えば教育委員会でもZOOM等を使いながら、他の学校とやりとりをするようなことを試したいということも考えたいということ、そういったことをしながらなるべく回数を増やしていく努力はしていきたいというふうに言っていた。</p> <p>食塩の摂取量等についても、今回、数値目標には上げていないが、国が定めた基本目標の中には入っているので、ここも検討委員会中で、やはり食育に関しては今後しっかりと町の広報を使いながら、減らす取組ってというのは、数値にない部分に関していろいろ考えていきますよって議論をした。</p> <p>もう一つは、この計画をつくってそのままではなくて、しっかりと今度からは、担当課で年に2回程度はしっかり集まって情報共有しながら、どういうふうに数値目標を達成するようにやっていかって、検討会を引き続き行うという確認をしているので、そういう中でしっかりと協議をしていきたいと考えている。</p>
委員 13番 中村	<p>・小学校、中学校とも前回から見ると回収率が下がっているように見えるが、理由は何があるのか。</p> <p>それから、前は保護者と町民と分けて集計しているが、今回は、1くりになって、しかも前は保護者と町民合わせると546人だったものが200人ほど減っている。</p> <p>回収率の問題と大人の部分の回収数が減ったということのわけ、それから保護者と町民とが一色淡になったわけを教えてください。</p>
農政課主幹 上田	<p>・今回、学校にアンケートを実施する際に、紙ベースとウェブ回答の両方をお願いしたいというふうに考えたが、各校の方から子供たちがタブレット使っているの、その練習ということも含めて、ウェブのみにしたいという申し出があり、ウェブのみにした。</p> <p>実際、実施したが、学校でその時間を作っていただいて、アンケート回答する時間にコロナの関係等で生徒がなかなか揃わなかったということで、学校からは生徒が少なくなった理由は、そのように聞いている。</p> <p>保護者と町民のアンケート内容は全く同じものではあるが、前は学校に保護者用として紙で配布していたものを回収していたが、今回は紙を配っていないので保護者についてもウェブ回答をお願いしたというところで、そのウェブ回答には名前を書くところがないので、町民と保護者が一緒になってしまっている。</p> <p>やはり、紙で回収してないので、その分で保護者からの回収改が下がってしまったのではないかと考えている。</p>
委員 13番 中村	<p>・今後、アンケートのとり方についても、十分研究していただければと思う。</p>
委員長 8番 松壽	<p>・他に質疑あるか。</p>
委員 一同	<p>・なし。</p>
委員長 8番 松壽	<p>その他</p>
産業振興部長 門脇	<p>(1)産業動向の概要について</p> <p>・資料により説明</p>
農政課主幹 上田	<p>(2)国営環境保全型かんがい排水事業肥培施設に係る調査報告について</p> <p>・資料により説明</p>
産業振興部次長 佐々木	<p>・1点報告させていただきたい。</p> <p>秋サケ漁の状況としては、記録的な不漁であった昨年、一昨年と比べると大きく回復した結果となったが、過去の漁獲量の推移を見ると、まだまだ豊漁とは言えない状況であるということで、実はの議会開催前の12月9日に野付、別海両漁協の組合長が来庁し町長に対して、秋サケ漁に伴う漁業経営継続のための支援について要請があった。</p> <p>内容としては、今年度については、まだまだ水揚額は、低水準の結果に終わったということで、管内増協に負担する漁獲高割負担率の増加、漁業資材の値上がり、そして原</p>

## 令和4年第10回産業建設常任委員会 要点記録

油価格の高騰による燃料費の増加によって、漁業経営は依然厳しい状況にあるので、管内増協に負担している漁獲高割負担金の一部を支援していただきたいという内容となっている。

この漁獲高割負担金というのは、管内増協が各種事業を行うために、漁業者から負担金を徴し、その金で増殖事業などを実施しているもので、これまでは漁獲高の6.8%の負担割合だったが、近年の不漁ということで、この6.8%負担だけでは、増協が行っている増殖事業などの各種事業ができなくなるということで、実は今年度から3年間、この6.8%に1.2%を上乗せして、8%の負担をするということで決まった経過がある。

そういうのも重なって、漁業経営は厳しい状況にあるということ。

町としては、これまでも直近でいえば、昨年と一昨年と不漁対策として、支援した経過がある。

今回の要請を受けて、町としても、昨年よりは漁獲高は増えたが、以前、漁業経営は厳しい状況にということは認識していることと、今後のサケの回帰率を増やすためには、さらにその資源確保あるいは資源増大が必要ということで、この要請に対して、今年度、支援する方向で検討しているということを報告させていただく。

委員長 8番 松壽

閉会挨拶

委員長 8番 松壽

11:09 閉会